

# 愛の聖母園

事業報告NO.37

平成27年12月1日

社会福祉法人 善き牧者会  
児童養護施設 愛の聖母園

〒891-0117 鹿児島市西谷山一丁目1番15号  
TEL.099-268-2045 FAX.099-268-2809  
E-mail:seiboen@peace.ocn.ne.jp  
http://ainoseiboen.jp

## 「あつたし」

頭 島 光

本年9月7日より善き牧者会この理事長として新しく任命されました頭島光と申します。皆々、よろしくお願ひいたします。前理事長竹山昭氏の後を受け、約一カ月余りがたちます。われわれは幾度か「愛の聖母園」を訪ねたわけにすぎませんが、児童養護のために従事しておられる職員の皆様とお会いする機会をいかなきました。そんな中、後、私たちが一致協力して愛する子どもたちのために一体何ができるのか、また何をしておられるのか、と常に自問自答してまいりました。さすがに能力は自分であること、日々、自覚してまいり、私にはありませんが、職員の皆様と共に一歩でも前に進んでいけたらと希望しています。

人が一歩でも前に進むためには、これまでの過去の歩みをふしぎしてあつても振り返って見直すことが必要です。何の自覚も反省もまた見直しもなく、闇雲に進み出せば、人はまた同じことを繰り返してしまいかねず、一度と同じ過ちを繰り返さないためには何が問題だったのか、どこに不具合があったのか、しっかりと精査し、かつ説明していかねばならないでしょう。われわれがなす単なる機械であれば、事はさほど難しくはないのですが、人の心の問題、魂の問題、ありは、われわれは人間なわけには

ありません。慎重かつ賢明に事を進めていく勇氣と力が必要で、幸い、神様は私にその勇氣と力を与えてくださいます。少々、わが子、信じて、あつたし、あつたし、神は大きな愛とあり、また希望とあります。

聖書の世界において「羊」は神の民を表します。

Let all Creation Praise God



す。この羊は決して生きていへないができません。誰かの優しく暖かい愛の助けが必要なのです。その助け手とは、言いつてもなく、キリスト様です。彼は羊飼いで、この世に來てくださった救い主であり、与えられた「羊」の神の民を導かれる方

です。愛の聖母園の子どもたちは、皆々一人一人に愛を注がれた「羊」たちであり、皆々には「羊飼」です。如何にして彼を守れるのか、その問いは普遍的課題であり、ます。答へは決して「羊」を見つかるものではないかもしれませんが、その答へを探し求めるから共にこの道を歩むことができまします。その道は協力を通常の道です。そしてこの道を共に歩む私たちが、子どもたちと結ぶ「あつたし」の愛の道です。

この道を進むための力は「絆」です。言葉に凝縮されていますから、私たちに希望があります。それは「羊飼」にして動く私たちの中にならぬ「羊」たちの心の中「溜んでいる」です。私たちが「羊飼」して、その希望の光である絆を「羊」たちの心の中「見出し」てあげようとは、なごうか。彼らは「羊」も私たちが「羊」の傍にいます。彼らの心の中に「絆」を「羊」に希望の光である絆を見つけた旅を続けていきます。神様は、必ず答へを用意して向う側で待っていてくれます。この旅は、今また新たに始まっています。こんなに大きな苦難と痛みが懸け掛かっているとしても、忍耐をもって絆を折るのをしつかり相互の信頼を固めながら、希望を見失わずに進んでいきたいと思います。

(社会福祉法人「善き牧者会」理事長)





# 1年のハイライト

2014

2015



## 2014年

- 12月24日 各ホーム・クリスマス パーティー  
12月25日 クリスマス会

## 2015年

- 1月 1日 元旦の集い  
1月 7日 七草祝い  
1月17日 小学生錬成会(低学年)  
1月22日 新年会  
2月15日 学習ボランティア(公文)感謝の会  
2月21日 高校生錬成会  
3月 8日 卒業お祝会  
3月12日 中学校卒業式  
3月18日 幼稚園卒園式  
3月24日 小学校卒業式  
4月 5日 イースター  
4月 6日 小・中学校入学式  
4月12日 入・進学お祝会  
5月初旬 ゴールデンウィーク:各ホーム計画  
7月21日 幼児部会 海水浴  
7月22日~23日 小学生Aグループキャンプ  
7月27日~28日 小学生Bグループキャンプ  
8月 2日~ 3日 中学生キャンプ  
8月 5日~ 7日 高校生キャンプ  
8月28日 ガーデンパーティー  
9月19日 十五夜  
9月27日 中学校運動会  
10月 4日 小学校運動会  
10月11日 幼稚園運動会  
10月18日 校区体育祭

その他 レクリエーション 多数



## 愛の聖母園理念

社会福祉法人「善き牧者会」及び児童養護施設「愛の聖母園」は、「わたしが来たのは羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしはよい羊飼いである。よい羊飼いは羊のために命を捨てる。」(ヨハネ福音書10/10-11)と言われたイエス・キリストの思いを基本理念とする。

施設に入所する子どもたちは、様々な理由により、幼少期における成長に不可欠な家庭での健全な保護と養育・教育の場から一時的に、また長期にわたって疎外されている。職員一同はこうした子どもたちを神から委ねられたものとして、施設の保護者・聖マリアに倣い、やり直しのきかない子どもたちの人生のこの時期を能うかぎり共に歩もうとするものである。

愛の聖母園の職員は、すべての人間が神の似姿として、神によって創造され、かけがえのない者として愛されている存在であり、そこに人間の尊厳があり、その尊厳はいかなる権力によっても侵害されるものではない、というキリスト教的人間観に基づき、またイエス・キリストの小さく弱い人に対する熱い思いや情熱を見習いつつ、愛の奉仕の精神をもって子どもたちと関わるものである。

## 園の特色

- 神に愛されてることを知り、感謝の「心」を育む環境
- 5棟の戸建6～8名の小グループでは、温かい家庭的雰囲気の中で治療的・個別的な関わりを通して安心して伸び伸びと育つように支援
- 6名定員の地域小規模施設でよりよい家庭的な生活体験
- 一対一の関わりの中でプレイセラピー、カウンセリングや生活場面面接による心理療法
- 子どもの養育が一時的に困難な場合、鹿児島市と契約を結んでのショートステイやトワイライトステイ事業を通しての子育て短期支援サービス
- 町内会や校区の行事に参加したり、地域の子どもたちを園の行事に招待したりして、地域との交流。園の多目的ホールや運動場は地域のニーズのために開放
- 学習指導(個人)、レクリエーション、ハンドベル、ピアノ、三味線、一時里親、ホームの援助や子どもとの交流、裁縫や清掃作業奉仕、数多いボランティアの方々による協力

## 園の概要

児童定員	51人
施設形態	小舎
敷地面積	5,769m <sup>2</sup>
建物面積	2,386m <sup>2</sup>

## 入所児童状況

平成26年12月1日現在	入所児童数	50名
平成26年12月1日～平成27年10月31日	入所6名	退所7名
平成27年11月1日現在	入所児童数	49名

## 児童・職員の人数編成

平成27年11月1日現在

	未 満 児	年 少 児	計	小 学 生						計	中 学 生			計	高 校 生			そ の 他	計	合 計	定 員	暫 定	
				1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生		1 年 生	2 年 生	3 年 生		1 年 生	2 年 生	3 年 生						
男	0	2	2	1	2	1	2	1	4	11	2	1	2	5	1	2	2	1	6	24	49	51	
女	0	4	4	1	4	2	1	1	1	10	1	1	3	5	2	1	2	1	6	25			

施設長	事務長	主任・児童指導員・保育士	事務員	栄養士・調理員等	心理担当	里親支援専門相談員	保育士補助	合計
1	1	10 12	2	4	1	1	4	36



## 聖劇



私たちがいちばん必要とするものが  
情報ならば、



神は教育者を

遺わしてくださったのでしょうか。

私たちがいちばん必要とするものが  
お金ならば、



神は経済学者を



遺わしてくださったのでしょうか。

私たちがいちばん必要とするものが  
テクノロジーならば、



神は科学者を



遺わしてくださったのでしょうか。

私たちがいちばん必要とするものが  
楽しさならば、



神はエンタイナーを



遺わしてくださったのでしょうか。

しかし私たちがいちばん必要とするものは、  
ゆるしなので、

神は救い主を



遺わしてくださいました。



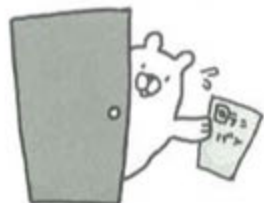
「おはようございます!!」「おはよう!いってらっしゃい!!」  
向かいの家のお母さんは、ご主人や息子さんを送り出した後、  
外で登校するホームの子ども達に会うと同じように送り出してくれる。  
「小学校ってまだベルマーク集めてるの?」と沢山のベルマークも、  
「お中元でもらったから子ども達に」とジュースももらったり。


「回覧板です。今日は学校が休みなの?にぎやかでいいわあ!」  
息子さんも、ホームの子ども達と「同じ小学校に通っていた」と懐かしんでくれる  
隣の老夫婦から回ってくる回覧板を、反対隣のおばあちゃんへ届けに行く。  
「いつもありがとうね」とおやつをもらう子ども達。

「あ!ヤクルトのおばちゃんだ!!」  
毎週、定期便で購入しているヤクルト。とりたててヤクルトが好きだったわけ  
でもないのですが… スーパーの方が安かったりするし… それでも毎週木曜日を楽しみにして  
いる子ども達。他にも、いろんなセールスや勧誘に「いいね」と玄関を開けるので、そこは大人が  
吟味させていただきます。

「国勢調査のものです!」「こくせい…って何?」  
世の中には知らないことがたくさんあるね。

ヨゼフホームが地域の一軒家を借りて生活し始めて、半年経ちました。  
もう何年もここで生活している感覚になっているのは私だけではない気がします。たぶん。  
子ども達との、そんな繰り返しの毎日です。

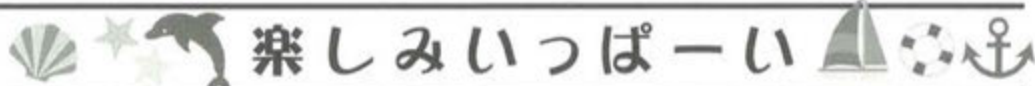


ヨゼフホーム 



夏休みの  
作品





# 楽しみいっぱい

## キャンプ

小学三年 K・M

七月十七日から七月二十八日までキャンプに行きました。せいほ園を出発して、たる水フェリーにのりました。フェリーにのって車からおりて、客しつに行きました。わたしは、はじめてフェリーにのったけど、ひろくてすごいと思いました。

フェリーからおりてくしらのプールに行きました。あさいプールや、ながれるプールがありました。わたしのすぎなプールは、大きいスライダープールです。白いスライダーと青いスライダーがあって、まず白い方ですべりました。黄色いボートみたいなうきわにのったらお兄ちゃんがおしてくれてすべりはじめました。うきわが、ぐるぐる回って後ろをおいたりして、楽しかったです。青いスライダーは大きくて、半分くらいすべったら上から水がながれてきて、つめたくてきもちがよかったです。



プールの後、キャンプ場に行きました。キャンプ場についたらまず、にもつをおろして夕ごはんのじゅんびをしました。夕ごはんは、バーベキューとバエリアで、わたしはバーベキューのやさいを切りました。玉ねぎを切って目がいたくなっただけで楽しかったです。

夕はんの前にテントの中にシートをひいてねるじゅんびをしました。テントの中には、くもとか虫が三匹くらいいて虫のおうちみたいでした。

その後、夕はんになりました。バーベキューではお肉をたくさん食べました。ごはんの後にきもだめしをしました。

少しとおくにある自動はんばいきに行つて、コーラがあるか見てきてと言われしました。ちょっとこわかったけど一人で行けました。

つぎの日は、海水よく場に行きました。すなはまに立ててあるほうをとるきよう走をしました。2回きよう走したけど、わたしはとれなかったのでくやしかったです。

うきわをつかってあよいでいたら、つづけて三回ほうりなげられました。うきわがはずれてどうしようと思ってたら、すくはたすけてもらったのでほっとしました。わたしは、プールより海の方がいいと思いました。

夜、せいほ園にかえりつききました。キャンプはとても楽しかったです。



## 中学生会キャンプに行つて

中学二年 M・A

僕が中学生会キャンプに行くのは、今回で二回目でした。去年の一日目は雨で、バーベキューが出来ませんでした。でも今年快晴でした。

僕はキャンプに行く為に、勉強も毎日キチンとしました。その分、キャンプはとても楽しかったです。

まずは一日目、桜島フェリーに乗って海水浴場へ向かいました。友達と歌を



# 楽しみいっぱい

熱唱しました。海水浴場の少し手前で祭りをやっていました。鬼がいたので少しビックリしました。そして海水浴場で思う存分泳いで、投げてもらいました。とても楽しかったです。その後は、吾平山稜に行きました。天皇のお墓だったので、門も警備がすごかったです。

公園に着いて、荷物を運びバーベキューの支度を始めました。火起しが大変でした。そしてついに待ちに待ったバーベキューです。カルビ、ホルモン、イカ、ホタテ、ウィンナーなど、いっぱい食べました。その次は花火で、打ち上げ花火を見ました。肝試しは、大人と一緒に後の人達を驚かしました。そして二日目。出発する準備して朝食をとり、プールに行きました。流れるプールはとても気持ち良かったです。ウォータースライダーもすごく面白かったです。そして鹿屋航空基地へ。戦争の悲しさを改めて知りました。



## 夏休みの思い出

高校二年 N・K

私の今年の夏休みで一番の思い出は長島でのキャンプでした。その中で特に思い出に残ったことが二つありました。

一つ目は食事です。特に記憶に残っているのが一日目の夜のバーベキューと二日目の夜の男女・職員対抗料理対決です。一日目のバーベキューは火起しが出来なくてすごく時間がかかりました。そしてその後の食事ではもう肉は見たくないと思う程に肉を食べさせられました。美味しかったですけど辛かったです。二日目の料理対決では男子の高校生が僕一人であとの二人が小学生だったこともあり、大半の作業を一人でこなすことになりました。切って炒めて洗ってなど仕事が多く



大変でした。因みに男子チームが作ったのはタコライスで、ご飯は少し水気が多くなってしまうので失敗気味だったけど自分達で作ったというのもあるのか結構おもしろかったです。

二つ目は寝ている時のことです。僕には意識が無く他の人から後で聞いた事なのですが、二日目の夜僕は眠りながらパンガローの中をゴロゴロと回転するという事をしていたららしいです。人から頭をゆらされたり、はたかれたりしても全く起きずに反時計回りに転がって無謀にも他の人が寝ている所へ二回程転がって行ったそうです。周りの人は後一回こっちに転がってきたら蹴るつもりだったと言われ、とても危ない状況だったんだなと思いました。

二泊三日という短い間でしたがとても濃く楽しい三日間でした。



# ハッスル高校3年生

## 愛の聖母園で学んだこと

高校3年生 M・M

私は五歳の頃から入所し、十三年間愛の聖母園で生活してきました。生活の中で学んだことが二つあります。

一つ目は、高校生になってからのお弁当作りです。高校一年生の頃は、一人でお弁当を作るのが初めてだったので炒め物の作り方や弁当箱に入れる具の詰め方などを教えてもらいました。最初は、いつもより早起きをして少しきついこともあり、お弁当を作りたくないと思う時もありましたが、今ではお弁当を作れることで色々な料理も作れるようになりました。そのことを今では誇りに思っています。

二つ目は、部活とハンドベルで学んだチームワークです。私は中学生の頃ソフトボール部に所属させてもらいました。一・二年生の頃は、ボールを上手に拾うこともできず、ボールを打っても遠くに飛ばせなかった為、あまり試合には出させてもらえませんでした。でも二年生の後半から、素振りの練習をしたりボール拾いの練習をしてボールを遠くに飛ばすことができるようになりました。その努力のおかげで三年生の練習試合などに出させてもらうことができました。試合で勝った時の喜びを味わうことができ、とても心に残っています。

います。

ハンドベルは、小学一年生の後半から習い始めました。きっかけは、「ハンドベルの見学行ってみたい？」と誘われて見学に行った時、楽しそうだと思い習い始めました。一年生だったので音符を読むことができませんでしたが、先生からの指導のもと、できるようになりました。クリスマス会や演奏会など、今年で最後の演奏となります。みんなで心を一つにして頑張れたらと思います。

他にも愛の聖母園で学んだことが沢山あります。私はまだ就職先が決まっていませんが、高校生の時に学んだ弁当作りや、チームワークの大切さは、社会に出ても色々な場面で役立つと思います。

私を生んでくれたお父さん・お母さんや、育ててくれた園の先生方に感謝することを忘れずに、社会に出ても健康を第一に頑張りたいと思います。



## 16年間の思い出と就職に向けて

高校3年生 S・H

僕は2歳の頃に家庭の事情でこの愛の聖母園にきました。幼児さんの頃から色々な

人に優しく育てて頂いて感謝しています。特に16年間長く一緒に過ごしてきた2人の先生には一番感謝しています。

僕はホームの中で最年長なのにしっかりとできてない部分があつて大人を困らせるけど、いつも僕の為に考えて動いて下さる2人の先生には日頃からお世話になってます。「申し訳ないな。」と思うことはかりですが、もう僕もそろそろ社会人になるので変わるべき所が沢山あるので努力します。

僕のホームでの思い出は、ホームレクで出かけた時、自主献や、ホームパーティー等です。後6ヶ月しかこの聖母園に居れません。園に居る間に沢山楽しい思い出が出来ると思います。

最後に、社会人になって園を出ても、今までの生活で教えて頂いた数多くの事の中で、これだけはずっと守ろうと思う教えが四つあります。「人と話すときは目を見て話すこと」「嘘をつかないこと」「逃げないこと」「時間を守ること」この四つは最低限守って生活していく立派な社会人になります。

16年間本当にお世話になりました。ヒマワリホームで良かったです。





# ハッスル高校3年生 パート2

## 愛の聖母園での生活

高校3年生 O・S

私は長い間、児童養護施設に居た。物心つく前から、入れられて、沢山の苦労があった。親でもない人との集団生活、ルールの厳しさ、門限の早さ、一般家庭に比べて自由がきかなかつたりと、とてもきつかった。何度も怒られ、何百回も抜け出したいと思っただ。また、友達にも、門限早いと言われたり、レシートがないとだめだから、割りかんもできないし、ゲーセンも行けないじゃんと言われて、付き合いが悪いと言われた事もある。

だが、良い事も少しはあった。色々な人と知り合えたり、栄養管理がしっかりされていて、健康でいられたし、キャンプはとても楽しかった。

もうすぐ社会に出ていく私は、嬉しい7割、期待が2割、不安が1割だ。社会に出れば、全て自分でしないとイケない。してもらって当たり前前の生活ではなくなる。だが、不安はない。少なくとも、家庭では学べない事を学んでいると思うから。ある程度の事は、自分でしてきた。洗濯も弁当作りも片付けも、お金の管理もやってきた。沢山学んだ事をしっかりと自分の糧とし、立派な社会人になりたいと思う。

私が一番、辛かった事は、国の税金で生活していた事だった。長く居たので、相当の金を使った。なので、一人前になって、募金などをして、恩返ししたいと思う。世の中は不平等だ。親たちの都合で、人生を大きく変えられた。そんな私達、児童を支えてくれた全ての人に、感謝したいと思う。

## 就職に向けて

高校3年生 H・H

私は、警備の会社より採用内定通知をいただき、来年度から空港保安検査委員として働く事になりました。この空港保安検査委員というのは、ハイジャック等の不法行為を未然に防止する為に行う乗客等の手荷物検査をする人ですが、最初からこの職種を志望していたわけではありません。

最初は、外国語を使う仕事やホテルマン、販売や動物関係の仕事にも興味がありました。でも、航空関係の仕事に小さい頃から憧れがあり、正義感や責任感を発揮できる職種である、空港保安検査員を志望することにしました。この空港保安検査員を第一志望と考えていた私は、夏休みに行われた応募前職場



見学に参加し、職場の雰囲気を感じてきました。最初に、TVでも紹介されたことのあるこの会社の職種内容の紹介DVDを見て、その後に検査員の方々が検査を行っている検査場に行き、お客様への接客や持ち物検査をしている姿を拝見できました。お客様に笑顔で丁寧に対応する検査員の方の姿はとても格好良く、誇りを持てる仕事だと改めて感じ、空港保安検査員に対する気持ちが強くなりました。その後、その会社の就職試験に向けて学習や面接練習を日々頑張ったことにより無事、合格することが出来ました。

私は就職したら、どんな状況でも笑顔で、空港を利用される色々な方々に臨機応変に対応できるような精神力と技術力を身につけることが大切だと思います。その為に少しでも早く仕事を覚え、先輩方の行動を見て勉強し吸収して、そして実践しながら更に身に付け、目標である警備業務検定とモニター資格を取得し、お客様と社員の方から強い信頼を得て、数年後にはVIPの方々を検査できるまで腕をあげ、五年後に開催される東京オリンピックの時には、立派な検査員になりたいと思います。



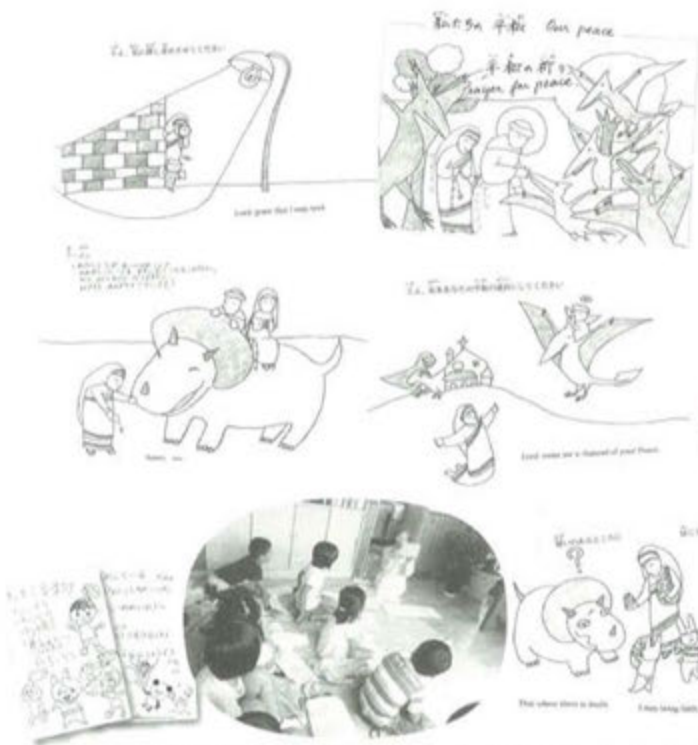
# 錬成会

小学校 低学年の

テーマは「わたしたちのへいわ」

ミスター安藤のお話

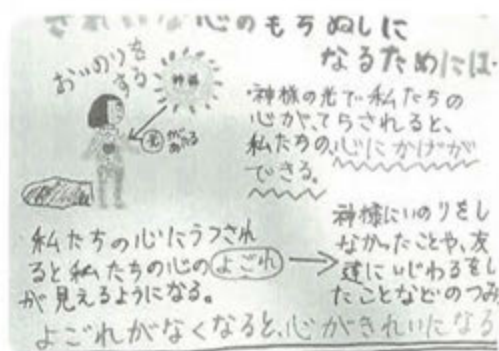
今回、マザーテレサのことを、お話しさせていただきました。その後、絵を見てぬり絵風にして発表することができました。



小学校 中高学年の

テーマは「きれいな心のもち主になるためには」

テーマは、皆で考えました。「きれいな心って、どんな風に私達の中に光を与えてくれるのでしょうか?」







## 新任職員・・・インタビュー



新任の方のインタビューを掲載しました。  
これからも宜しくお願いします。

### 半年経ったいま

保育士 盛山 稚葉

愛の聖母園に就職させていただき、もう半年経ちました。一日一日過ぎるのが早く、毎日様々なことを学ばせて頂いています。

就職したての頃は業務を覚えることが精一杯で、子ども達とゆっくり過ごす時間が余りありませんでした。子ども達一人ひとりに対してどの様に接すれば良いのか分からない時や疑問に思ったことは、その時々には先輩職員に尋ねアドバイスを頂いています。



月日が経ち一人でこなせる業務が増え時間に余裕が持てるようになった頃、少しでも子ども達と関わる時間を作ることは大切なことだと気付きました。一対一で時間を作るということはなかなか難しいため、私は入浴時や就寝時など一対一になることができる時間を大切にするように心掛けています。勿論、一人の子どものみだけでなく、子ども達はいろんな話をしてくれ、子ども達は色々な話をしてくれ、子ども達も共感すること、寄り添ってあげることが、話を聞いてあげることがとても大切なことと日々実感しているところです。

子ども達から教わることも沢山あります。学校行事に参加し、子ども達が頑張る姿に感動した



り、テストで高得点が取れた時嬉しそうに話してくれたり、子ども達の笑顔に毎日元気をもらうことができて私は幸せです。楽しい日々だけではなく、声掛けの大変さや臨機応変に対応する難しさなどもあります。日々勉強であり子ども達から学ぶことの方が多い気がします。「おはよう」から始まり「おやすみ」で終わるごく普通のことですが、当り前の毎日を送ることができると、子ども達と関わることでできていることに感謝しています。

これからもっと難しくなったり大変になったりする時が来ると思っています。自分に余裕がない時は一人で焦ってしまいがちですが、落ち着いて何をすべきなのか優先順位を考え頑張りたいです。子ども達が喜ぶ笑顔の為に。



# 里親支援専門相談員4Sの活動のご紹介



里親支援専門相談員(4S)は、平成24年度から、児童養護施設と乳児院に設置されました。地域の里親さんやファミリーホームを支援する拠点としての機能を持ちながら、児童相談所(児相)の地域支援指導課を中心に、里親委託等推進員、里親会等と連携して、里親委託の推進と里親支援を行うことを目的に制度化されました。

鹿児島県では、平成25年度から事業がスタートし、当園では、平成26年度4月から里親支援専門相談員(4S)が配置されました。里親支援専門相談員(4S)は現在、鹿児島県では13の児童養護施設、及び3つの乳児院に1名ずつ16施設に配置されています。

里親支援専門相談員の主な活動の一つとして、地域にお住いの里親家庭やファミリーホームを支援するという役割も担っています。

毎月、県の子ども福祉課・児相・里親会事務局と各里親支援専門相談員の連絡協議会を行っています。また、5つに分かれた地区ごとのブロック会議を通じて里親支援についての話し合いを行っています。

里親支援専門相談員の業務については、主に(1)里親の新規開拓(2)里親候補者の週末里親等の調整(3)里親への研修(4)里親委託の推進(5)里親家庭への訪問及び電話相談(6)レスパイト・ケアの調整(7)里親サロンの運営(8)里親会の活動への参加勧奨及び活動支援(9)アフターケアとしての相談といった内容を担っております。

今後、新たな取り組みとして、各市町村と児相が連携して、里親募集説明会を随時行っていく予定です。また、下記の取り組みについても受け付けております

## ○ 里親制度出張講座

希望される方(個人・団体)のニーズに合わせたお話ができればと思っております。ご連絡をいただきますと日程や、内容の調整を行います。お気軽にご連絡ください

## ○ 相談について

里親さんや、里親に興味がある方からの相談について、可能な限りお答えいたします。里親支援専門相談員(カフハラソノ)までお申し付けください。

最後に、4Sとは、里親(S)支援(S)専門(S)相談員(S)を略して4Sと、鹿児島県の里親支援専門相談員は使用しております。名前が言いにくい場合は、4Sの方、または里親担当の方をお願いしますとお伝えください。

今後とも、里親支援専門相談員の活動のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



2015年12月

# ニュース・レター

愛の聖母園を支える会  
会長:ホセ・デルコス  
運営委員一同

活動内容は、高校生は卒業前に自動車の免許取得のため・就職のための支援など、他の子どもたちには部活動のための支援・他に措置費等で不足する部分の支援、などとなっております。

善意の方々からの物心両面のご協力は、愛の聖母園の子どもたちが将来に向かって自立し、夢と希望を持って生きていけるようにと願って活動いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様益々お元気で活躍できますよう、心からお祈りいたしております。

今年もよろしく  
お願いします

入会ご希望の方、詳細をお知りになりたい方は  
下記へご連絡下さい。

## 「愛の聖母園を支える会」事務局

〒890-0081 鹿児島市唐湊2丁目10-2

レデンプトール宣教修道女会内

TEL 099-253-6658 FAX 099-253-6651

## 【郵便振込み口座】

番号 01760-0-55679

口座名義 愛の聖母園を支える会



## ボランティアひろば Thank you

### 子どもとの交流

芝原慶次・ゆかりさま  
森元晶行さま  
ふれあいサークルの  
みなさま

### 学習指導

吉川百合子さま  
押川龍広さま  
ふれあいサークルの  
みなさま

### ピアノ

徳田昭子  
さま

### 一時里親

秋丸ミナ子さま  
職員のご家族  
のみなさま

### 三味線

堀脇三知世  
さま

### 園内整備

平井重久さま  
源元洋樹さま  
吉留謙一郎さま  
東 正雄さま

### ハンドベル

安楽 晃さま

### 様々な奉仕

シスター安藤克子  
野田ふよこさま  
シスターカタリナ

# お心遣い感謝!!



ご支援・ご協力に感謝(平成26年11月〜平成27年10月 敬称略・50音順)

## ● 愛の聖母園を支える会

代表 ホセ・デルコス  
会員一同

- 有川泉バレエアカデミー
- 有川 知佐
- 五十嵐 文子
- イクタ有志会
- 井上 正治
- 今村 光恵
- 岩崎 正幸
- 岩下さつき
- 白山 剛
- 内川 清
- 打越 政雄
- NPT労働組合 鶴池分会
- NPO法人童達 赤石 千晶
- 御エフワン
- エムオーエル協会 横田 弘一
- エムザス 指宿店
- 慶野商事 慶野 晴美
- 柿元 行夫
- 格闘技イベントFIGHTER運営事務局
- 代表 板敷 吉郎
- 鹿児島県里親会 上山・田中
- 鹿児島県食肉事業協同組合連合会
- 鹿児島県信用組合協会
- 御オリエントコーポレーション
- 鹿児島県文化振興財団 宝山ホール
- 鹿児島県サザンフットボールタリークラブ
- 鹿児島さつまライオンズクラブ
- 鹿児島市八幡地区民生児童委員
- 横山 勝子
- 鹿児島純心女子短期大学
- 鹿児島谷山ライオンズクラブ
- 鹿児島まくる同友会会長 上夷 和輝
- 鹿児島西口タリークラブ
- 鹿児島読売テレビ
- カコメ株式会社
- カトリック谷山教会信徒一同
- 門田 ゆかり・順子
- 金田 ひとみ
- 地方紙正月連合企画係
- 御カープスジャパン
- 上村 きみよ
- 川上 萬代
- 川口 隆・倫子
- 河南 和子
- 木山 仁
- 九州アイスクリーム協会
- 九州労働金庫
- 御所保育園
- 坂元台地区民生児童委員協議会
- さつき会
- 薩摩一番どり利休
- 佐藤食品工業 御
- 御ジエネシスインターナショナル
- 鈴木 かおる
- 重留 万希子
- 地頭所 浩子
- 芝原 麗次・ゆかり
- 御樹菜 榎木 春幸
- 小宮製菓研究所
- 城山観光ホテル
- 杉木 和子
- 杉元 博幸
- 精機クリニック 小林 彰・和
- 全国シヤンメリ協同組合
- 園田 にしき
- 第一生命保険 御
- 鹿児島営業職支部・鹿児島内勤職支部
- 御ダイサン
- 御高岡屋
- 立石 梨子
- 田中整形外科
- 田中ひび科医院
- 谷山校区婦人会
- 谷山中学校 茶崎 考一
- 谷山中学校職員一同
- 谷山善き牧者幼稚園
- 谷山善きコーヒージャパン 御
- たわわタウン谷山
- 地方紙正月連合企画係
- 述木工
- 堤しおり
- TEAMAX 新栄店
- Dean's English School
- 遠竹 勝子
- 堂園 良子
- 徳田 けい子
- 永井 穂子
- 中瀬小児科 中瀬 正治
- 長友 繁
- 長野 浩二
- 中水 留理
- 西谷山校区社会福祉協議会 内村 建夫
- 西谷山校区女性連絡協議会 大戸 真知子
- 西谷山小学校職員一同
- 日本経済組合理事長 樋口 元剛
- 日本ガスエネルギー 御 竹川・高原
- 日本レコード協会
- 野間口 華奈
- 原田 雄真
- 御ピー・アングル 角田 隆幸
- 東 正雄
- 東町養殖業者会会長 森永 元生
- ひまわり幼稚園
- 平林脳神経外科 平林 和明
- 平野 真美
- フィリップモリスジャパン 御
- Field Boss
- フードドライブ事務局
- フードバンク鹿児島
- 福富徳科医院 福富 博・綱代
- 福永 雅子
- 富士ゼロックス鹿児島 御 白石 幸伸
- 藤田 奈保子
- 藤上印刷 御
- ほつともつと
- 牧瀬 朋子
- 堀川養生園
- 御マルハン 御本町店
- 高正苑
- 御MISUMI
- 聖徳老人ホーム利用者・職員一同
- 宮井 紀行
- 明光クリーニング 平田 ミネ子
- 明治安田生命保険相互組合
- 森元 昌行
- 山口 泉
- 御山口酒店 立石 穂行
- 山口 さゆり
- 山口 留美
- 山下眼科クリニック 山下 豊美
- 御ユコーラッキー 鹿児島新栄店
- 横山 久美子
- 横山 穂子
- 御楽天
- ラ・サール学園
- ラ・サール学園 母の会
- 御リッツ
- レンブートル宣言修道女会
- 御六葉燈火
- 匿名の方々
- 取引業者の方々
- 親族の方々
- 入所児童保護者・親族の方々







▲ ハンドベルのご奉仕



▲ くもんのご奉仕



▲ 野球観戦



▲ 魚つりのご奉仕



▲ 三味線のご奉仕



▲ 管弦楽のご奉仕



▲ 個人学習のご奉仕

この一年、皆様の温かいお心に支えられて過ごせましたことを深く心より感謝申し上げます。

子どもたちは、現在、本園の5つの家、地域の2つの家で生活しております。それぞれの家で子どもと共に過ごしている職員は、家庭的な養育・子どものための養育を模索し、研鑽に励んでおります。

今年度初めに、地域に2つ目の子どもたちの家を開設することができました。子どもの生活にとってより良いあり方であるとの思いがあるから、実現できたことであると思います。

大人の料理をする後ろ姿を見たり、一緒に料理の手伝いができる環境は大切に必要なことではないかと考えます。一緒に過ごす時間が多くなるということは、育み受けとめることに繋がることでしょう。

「生活は、子どもにとって育ち(発達)の根幹となるものである。やがては子ども時代の生活をとおして体験したこと、学習したことを意識的、無意識的な記憶(記録・保持・再生)の痕跡として再現(具現化)していくことになる。子どもの可能性に期待をいただきつつ寄り添うおとなの歩みは、これからおとなに向かう子どもにとってのモデルである。」

(この子を受けとめて、育むために 全国社会福祉協議会 抜粋)



引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

愛の聖母園 園長 小牟田 久美子

### 愛の聖母園 課題解決委員会

課題解決責任者 小牟田 久美子  
 課題解決受付担当者 川原園 淳一 (児童指導員、社会福祉士)  
 町田 照子 (保育士)  
 第三者委員 岡田 洋一 (鹿児島国際大学准教授)  
 川下 智子 (医師)  
 岩崎 正幸 (ラ・サール中・高校教諭)

課題解決受付件数 平成27年(H26年12月よりH27年11月まで)0件  
 愛の聖母園や子どものことでご相談やご意見がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。